

不燃材料 国土交通大臣認定品

低ポリマータイプ 無収縮断面修復用ポリマーセメントモルタル材

「なおしたる NP」

「NAOSHITARU NP」

「なおしたる NP」は、使用時に所定量の水を加え、練り混ぜることにより使用できる、プレミックスタイプの断面修復用ポリマーセメントモルタル材です。耐火性能に優れており、建築基準法「不燃材料」国土交通大臣認定品です。付着強度にも優れ、高い無収縮性能を有し、RC建築物のかぶり厚さ不足補修、その他RC構造物の断面補修に使用することができます。

特長

1. 厚塗り施工ができ工期短縮につながります。
2. 吹付け工法、左官工法、いずれの施工方法を用いることができます。
3. ポリマー混入量が少ないため、高強度性、耐火性に優れています。
4. 施工直後の乾燥によるひび割れ抵抗性が高く、長期においても高い無収縮性能を有しています。

用途

- RC 建築物のかぶり厚さ不足補修(5mm 以上施工可能)、コアボーリング後の孔補修、はつり後の補修
- RC 構造物の補修
- 耐震補強工事、繊維補強後の表面被覆
- 床面表層保護・目違・不陸調整、凹凸部の平滑化

仕様

1袋あたりの練上り量			1㎡あたりの使用量		可能施工厚 (mm)※2	
「なおしたる NP」 (kg)	水 (kg) ※1	練上り量 (ℓ)	「なおしたる NP」 (kg)	水 (kg)	垂直面	天井面
20	3.0	約10	1900kg (20kg × 95袋)	296	5～120	5～30

※1 練り混ぜ水は、環境温度、施工方法により変動します。1袋あたり2.6～3.4kg/20kg 袋の範囲を目安にご使用ください。

※2 可能施工厚の最大値は、吹付け施工によるものです。左官工法の場合は、最大値の約1/3の数値になります。

施工方法

1. 施工する面は必ず粗面処理を行い、完全に粉分、油分等を除去し、水湿またはプライマーを用いて下地吸水調整をしてください。
2. 剥落防止対策は、施主・設計の指示に従い行ってください。
3. 鉄筋が腐食している場合は、適切な防錆処理を行ったのち施工してください。
4. 練混ぜはハンドミキサまたはパン型ミキサを用い、練混ぜ時間 120 ～ 180 秒を目安に練混ぜ、吹き付け工法または左官工法で施工してください。
5. 施工後は必ず適切な養生を行ってください。まれに施工後数時間で表面に乾燥ひび割れが発生する場合があります。必ず、ビニール養生を行ってください。ビニール養生ができない場合は、養生剤を使用してください。

性能

1. 物性試験例

水量 (kg/袋)	練上がり温度 (°C)	モルタルスランプ (mm)	圧縮強度 (N/mm ²)		静弾性係数 (kN/mm ²)	付着強度 (N/mm ²)	長さ変化
			7日	28日			28日
3.0	20	45	42.2	55.2	27.2	2.26	-382 × 10 ⁻⁶

※ 物性試験例の数値は、品質を保証するものではありません。

モルタルスランプ： JIS A 1171 ポリマーセメントモルタルの試験方法

圧縮試験： JIS A 1108 コンクリートの圧縮強度試験方法 養生条件：20°C、湿度60%、気乾養生

静弾性係数： JIS A 1149 コンクリートの静弾性係数試験方法 養生条件：20°C、湿度60%、気乾養生

付着強度： 建研式 300×300×60mmコンクリート平板母材とし、施工面目荒らし後、t=10mm左官施工 養生条件：20°C、湿度60%、気乾養生

長さ変化： JIS A 1129 モルタルおよびコンクリートの長さ変化試験方法 供試体作成後、翌日基長にて測定

2. 「平成13年国土交通省告示第1372号」基準に対する試験結果^{※3}

試験項目	基準値	試験結果
圧縮強さ (N/mm ²)	20以上	61.1
曲げ強さ (N/mm ²)	6以上	6.2
接着強さ (N/mm ²)	1以上	1.5
接着耐久性 (N/mm ²)	1以上	2.0

※3 試験結果は「RC建築物のかぶり厚さの信頼性向上に関する研究」における、左官工法による結果です。

包装形態

20kg入 防湿袋

関連商品

下地調整塗材	なおしタル カチオン C-1・C-2
アクリル系吸水調整プライマー	なおしタル コートFP
コテ仕上げ助剤・養生剤	なおしタル コートFA
鉄筋コンクリート用防錆ペースト	なおしタル L ペースト

使用上の注意事項

1. 使用前に必ず、安全データシートを読み、取扱う。
2. 本製品を使用するときは、飲食・喫煙をしないこと。
3. 取扱い後は、手を良く洗うこと。
4. 保護手袋・保護メガネ・防塵マスクを着用すること。
5. 飲み込んだ場合は、すぐに口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
6. 眼に入った場合は、水道水で15分以上洗うこと。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。
7. 皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合は、水道水で洗浄すること。
8. 発疹が生じた場合は、医師の診察、手当を受けること。
9. 吸入した場合、呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診察を受けること。
10. 保管は、直射日光を避け、湿気のない室内に保管すること。
11. 内容物、容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

なおしタル工法研究会



株式会社ニューテック

〒174-0056 東京都板橋区志村1-2-9

TEL 03-5918-9688 FAX 03-5918-9687

<http://www.kknewtech.co.jp/> E-mail info@kknewtech.co.jp